

『男女共同参画社会実現に向けて』 『日本女性会議2000津』からの報告(その1)

都留市男女共同参画推進委員会

《そろそろ！女も男もおんなじ人間やんか》

昨年十一月十日・十一日の両日、「日本女性会議2000津」が、三重県津市で行われました。全国各地から三千八百人が集まり、講演会・研修会にと、熱い議論がたたかわされました。

基調講演は、二つに分かれており、一つは、国の男女共同参画室長による国連特別総会「女性2000年会議」と国内外の動きについての報告であり、もう一つは、作家の落合恵子さんによる「午後の居場所 - 女と男の風景 - 」と題した講演でした。その後、分科会が十に分かれて開催され、私は第十分科会「次世代」に参加しました。

この分科会のコーディネーターである作家の中山千夏さんが、「二十一世紀を生きて！若い人とともに考えてみやへん」というテーマで語り始めた。大学生と高校生が、「この会議のパワーに圧倒された。このエネルギーの源は何か教えてほしい」、「この女性のエネルギー、すげえなあ、うれしいなあ」と言う。中山さんはなぜ、こんなに集まるようになったのかを、次世代に伝えていくことが大切だと言う。でも、若者達は、「女も男もおんなじ人間やんか」と言って集まる女性達に対して、少しばかり当惑している様子だ。若者達は、「な、男と女は、どう見ても違うジャン。やっぱり、男と女は違うよ」と言う。若者達は、「おんなじ」と言うキーワードではどうしても話し合えないようである。

実は、私も女と男は、性差があるものと見るのか、ないと見るのかわからないでいた。目指す男女共同参画社会は、前提である男女の関係によって、大きく変わるのではないのかと考えていました。

若者達は、女性でなければいけない職場もあるし、「違い」を認め合ってこそ多様な社会がつけられるし、自由な社会となると考えていた。しかし、中山さんは断固として「おんなじ」にこだわった。「おんなじ」は、女も男も同じ「人権」を持っていることであり、「人権」の問題であると語った。だから女も男も「おんなじ人権」を持った「人間だから「おんなじ」だ。男と女の「違い」は、個の違いに比べたらはるかに小さい。「個」の違いの方がずっと大きな違いである。

うーん、納得できる話です。若者達はうなずき、私も性差などにこだわりの新しい社会に困惑するより、しっかりと男女共同参画社会へ一歩踏み出そうと思いました。

ネイチャーセンター ガイド (35)

外では「さむい、さむい」「ヒューヒュー」とカラッ風が吹き抜けていく。そんな日には家の中で日あたりのいい場所で昼寝なんても気持ちいいよね。あの眠りに入る瞬間がたまらないのだ。

身も凍るようなふれあいの里の冬。
最低気温はこの1月でマイナス10度ほどになります。霜柱もものすごく高いぞ！
でも、この寒い冬こそ「いきもの」を観察する絶好の季節なんだ。この寒さがたまらないのさ。

●生態園の広場であそびませんか！
～かけまわって、寒さなんてわすれてしまえ～
この広場に昨年の秋、手づくりの遊具が設置されました。
そんなに立派なものではないけど、おもしろさとスリルは120%だ。

【植物たちの冬の顔『冬芽』を撮影しています】

カメラ片手に森の中を右往左往
写真は、撮る人の視点や感情を映し出す。人それぞれの感性がぶつけられている。美しい。今回はそれをテーマに撮影し、春を待ちたいと思います。

●こんなことをして、冬を過ごしているよ！

【モグラとヒミズの観察をしているよ】

～観察は、24時間やってます～
モグラとヒミズはどこがちがうの？実はこの2種はモグラの仲間なんだけど、いろいろとちがうんだ。今年中には、観察会を開けるようにたくさんの疑問をみつめておくれ。



【森づくりにはげみます】

～木を切ることのむずかしさ～
森は、沢をつくり、川をつくり、海をつくります。
私たちの身近なところにはたくさんさんの森からの恵みがかくされています。みつめてみてください。
森が元気になると、私たちもそしていきものたちも元気になります。森って、偉大です・・・。

【炭焼きをしています】

間伐材があつまりしだい、火をいれます。
炭って知ってるかい？これがおもしろいのさ！
炭焼きって知ってるかい？これが奥がふかいのさ！
体験をとおして、森とは木とは炭とは、そして炭と人とのかわりを考えてみませんか？

連絡・問合せ
室の山ふれあいの里ネイチャーセンター
開館時間：午前9時から午後4時まで休館日：月曜日、祝祭日の翌日 ☎(45)6222